

# アトムハードカラーFCM

アトムハードカラーFCMは超速乾の溶融型カラーリング材です。交通事故危険箇所や歩車道分離等カラーリングによる視覚効果を付与することで、歩行者とドライバーに注意喚起を促し、安全・安心な交通環境整備に役立ちます。また新設排水性舗装は、対応した特殊工法により排水機能を確保します。

## 特長

### 1. 優れた耐久性

ポリアミド樹脂を使用する事で塗膜の変形が少なく（骨材の埋没・塗膜のつぶれが少ない）、長期にわたりすべり抵抗値を維持します。

### 2. 速乾性

溶融タイプのため早期の交通開放が可能です。

### 3. 高いすべり抵抗性

塗料中に硬質骨材が含まれ、さらに施工時に硬質骨材を散布することにより初期および経時で高いすべり抵抗が得られます。

### 4. 新設排水性舗装の排水機能を確保する

ヒートラインFC施工機（HFC-A）による工法で、排水機能を確保します。

## 用途

### 交通事故危険箇所対策

- ・交差点、合流部、カーブ進入危険防止
- ・出会い頭事故多発地点における注意喚起

### 交通バリアフリー対策

- ・歩車道分離・スクールゾーン・歩道における歩行者、自転車道の区分等

### 渋滞・違法駐車対策

- ・バス専用、優先レーン・駐車禁止帯等

## 形状

標準膜厚 1.7mm

## 荷姿

アトムハードカラー FCM	20kg/ 袋
硬質骨材	25kg/ 袋
プライマー No.3	15kg/ 缶

## 色

(印刷見本のため、実際の色と多少異なることがあります)

### 標準色



NLCETC ブルー



NLCグリーン



NLCレッド



NLCブラウン

### 受注生産色



NLCイエロー



NLCホワイト

## 施工事例



施工中



サイクリングロード



矢羽



バスレーン



交差点内警告



バス優先駐車スペース



カーブ進入危険防止



カーブ進入危険防止

## 1. 標準施工仕様

工 程	材 料	アスコン面(密粒)	アスコン面(開粒・排水性)	コンクリート面	新設排水性アスコン面(13mmトッ以上)	
		使用量(m <sup>2</sup> 当たり)	使用量(m <sup>2</sup> 当たり)	使用量(m <sup>2</sup> 当たり)	使用量(m <sup>2</sup> 当たり)	
1	下地処理					
2	プライマー塗布 プライマーNo. 3	0.150kg *1)	0.150kg *1)	0.150kg(プライマーNo.3/ No.2シンナー=1/1[重量比])*1)	0.167kg *1)	
		—	—	0.167kg(プライマーNo.3) *1)	—	
3	材料塗布	アトムハードカラーFCM	4.100kg *2)	9.000kg *2)	4.100kg *2)	3.630kg *1)
4	骨材散布	硬質骨材C粒	0.200kg *1) 注) 参照	0.200kg *1) 注) 参照	0.200kg *1) 注) 参照	0.300kg *1) 注) 参照
5	養生					
6	交通開放					

\*詳細は標準施工仕様書をご確認ください。

\*1)ロス25%含む \*2)ロス40%含む

注) NLCレッドのアスコン面(密粒)・アスコン面(開粒・排水性)・コンクリート面は0.250kg、  
新設排水性アスコン面(13mmトッ以上)は0.375kgとなります。

## 2. 品質性能表

アトムハードカラーFCM 性能表			
試験項目	成 績	試験方法	備 考
硬化時間(23℃)	タイヤに付着しない	JIS K 5665 3種のタイヤ付着性試験による	10分後にタイヤに付着しない
すべり抵抗値(BPN)	80(初期値)	ポータブルスキッド・レジスタンステスター	新設13mmトッの排水性ブロック上に塗膜を塗布してすべり抵抗値を測定
透水性(ml/15秒)	1000	現場透水量試験機	新設13mmトッの排水性ブロック上に塗膜を塗布して透水量を測定
耐変形性(%/80℃)	98	社内試験*1	試験後の供試体の高さ(mm)/20(mm)×100

社内試験\*1

JIS K 5665に規定された内径20×20×20mmの型枠に流し込み、供試体を作製し、この供試体に2kgの分銅をのせ、80℃の雰囲気下で1時間放置します。供試体の高さをノギスで測定し、耐変形性を求めます。耐変形性は右の式から計算し、数値の大きい方が耐変形性に優れていることを示します。

(上記の数値は代表値であり、規格値ではありません。)

$$\text{耐変形性}(\%) = \frac{\text{試験後の供試体の高さ}(\text{mm})}{20} \times 100$$

## 3. 取扱い上の注意

当社自主基準による表示

- (1)この製品は下記条件により爆発の危険性があります。取扱いには充分ご注意ください。
- 保管場所の火気厳禁を徹底してください。
  - 溶融時、適正温度範囲を越えて加熱、溶融させると爆発する危険があります。
  - 溶融時、多量の水分を含んだ場合、釜の中で爆発する危険があります。
- (2)皮膚(特に傷口等)に付着したり、眼に入ると炎症を起こすことがあります。  
多量に飲み込んだり、粉じんを吸入した場合には中毒症状を起こす恐れがあります。

下記の注意事項を必ずお読み頂き、お取扱いください。

### 注意事項

- (1)取扱い上の注意(溶融前の状態)
- 袋からこぼれた場合は、粉じんが立たないうちに処理してください。
  - 皮膚に付着した場合には、多量の石鹼水で洗い落とし、痛みまたは外観に変化があるときは、医師の診断を受けてください。
  - 眼に入った場合は、多量の水で洗い、出来るだけ早く医師の診断を受けてください。
- (2)保守・保管上の注意(溶融前の注意)
- 常に雨水に濡れない場所に保守・保管してください。
  - 子供やペット等に触られない場所で保管してください。
  - 屋外にて一時保管する場合は、養生シート等をかぶせ、雨水や露が袋の表面につかないようにしてください。

- (3)溶融中の注意
- 溶袋式ですので、袋ごと仕込むようにしてください。
  - 換気を良くし、粉じんやガス等を吸い込まないようにしてください。
  - 材料が高温のため、取扱い時は長袖、長ズボン、前掛、保護眼鏡、保護面、保護手袋等を必ず着用し、皮膚が露出しないようにしてください。
  - 溶融時にこぼれた場合には、塗料が冷却するまでそのままの状態にし、冷却後に削り取ってください。(すぐに触るとやけどします)

- (4)塗装中・廃棄上の注意
- 換気を良くし、粉塵やガス等を吸い込まないようにしてください。
  - 材料が高温のため、取扱い時は長袖、長ズボン、前掛、保護眼鏡、保護面、保護手袋等を必ず着用し、皮膚が露出しないようにしてください。
  - 塗装時にこぼれた場合は、塗料が冷却するまでそのままの状態にし、冷却後に削り取ってください。(すぐに触るとやけどします)

- (5)取扱い後の注意
- 取扱い後は、手洗い、うがいおよび鼻腔洗浄を充分に行ってください。

- (6)もしもの場合
- 溶融中および塗装中、皮膚に付着した場合は、直ちに水で冷却し、大至急医師の診断を受けてください。
  - 溶融中および塗装中、眼に入った場合は直ちに多量の水で冷却し、大至急医師の診断を受けてください。

# アトム株式会社

■道路事業部 〒174-8574 東京都板橋区舟渡 3-9-6

TEL(03) 3969-1552(直通) FAX(03) 3968-7300

■営業部 〒174-8574 東京都板橋区舟渡3-9-6  
 ■大阪支店 〒574-0053 大阪府大東市新田旭町2-22  
 ■札幌営業所 〒001-0014 札幌市北区北十四条西1-25(三見ビル403)  
 ■仙台営業所 〒982-0011 仙台市太白区長町6-9-7(ハイコートアイ1F)  
 ■新潟営業所 〒950-0982 新潟市中央区堀之内南2-19-14(和合ビル)  
 ■名古屋営業所 〒462-0043 名古屋市中区八代町1-9(北村ビル2F)

TEL(03) 3969-1552(直通) FAX(03) 3968-7300  
 TEL(072) 872-3111 FAX(072) 872-1222  
 TEL(011) 738-6070 FAX(011) 738-6071  
 TEL(022) 249-7371 FAX(022) 249-7372  
 TEL(025) 244-8012 FAX(025) 244-8012  
 TEL(052) 914-3900 FAX(052) 916-0892

■広島営業所 〒739-1734 広島市安佐北区口田1-8-17(小夫家ビル) TEL(082) 845-2202 FAX(082) 845-2203  
 ■福岡営業所 〒812-0863 福岡市博多区金の隈1-33-31 TEL(092) 503-5200 FAX(092) 503-5308  
 ■久喜工場 〒346-0101 埼玉県久喜市葛瀬町昭和6(久喜葛瀬工業団地内) TEL(0480) 85-7931 FAX(0480) 85-3112  
 ■岡山工場 〒708-1312 岡山県勝田郡奈義町柿502-11(東山工業団地内) TEL(0868) 36-7000 FAX(0868) 36-7010  
 ■加須工場 〒347-0017 埼玉県加須市南藤崎1-12-1(加須工業団地内) TEL(0480) 65-1159 FAX(0480) 65-7146  
 ●本社 〒174-8574 東京都板橋区舟渡3-9-6 TEL(03) 3969-3111(代表) FAX(03) 3968-7300